

## 日光市歴史民俗資料館テーマ展

「川でつながる日光と江戸ー<sup>ばいぼく</sup>売木と<sup>いかだかわさ</sup>筏川下げー」を開催

江戸時代、川は物資の輸送上、重要な役割を持っており、川を通して多くのモノが行き来していました。日光では、鬼怒川や大谷川の流れを利用した輸送が行なわれ、特に江戸時代中期以降、材木を筏に仕立て、江戸などへ流す<sup>ばいぼく</sup>売木が盛んに行なわれました。売木を行なっていた者は<sup>ばいぼくにん</sup>売木人と呼ばれ、川沿いの村々の指導者層を中心とした百姓等が活動していました。売木人は、農閑期の林産物の流通を通して自己の利潤とともに、村人たちの困窮した暮らしからの脱却や地域の発展などに寄与していました。

現在、鬼怒川や大谷川を筏が通る光景を想像するのは難しいですが、江戸時代ではありふれた光景でした。本展示では、当時のありふれた光景の再現を試みます。

## 1 期間・場所

令和6年(2024年)12月10日(火)～令和7年(2025年)3月30日(日)

日光市歴史民俗資料館(開館時間:9時～17時、休館日:月曜日・祝日の翌日・年末年始)

## 2 関連行事

◎ギャラリートーク:令和6年12月21日(土)／令和7年2月8日(土)／3月26日(水)

各日10時から1時間程度、参加無料、申込不要

(開始時刻に展示室にお集りください。)

◎展示に関する講座:令和7年1月11日(土)10時～11時30分

開催場所:市民活動支援センター第2・第3会議室(歴史民俗資料館2階)

申込方法:前日までに問合先へ申込み

## 3 主な展示資料

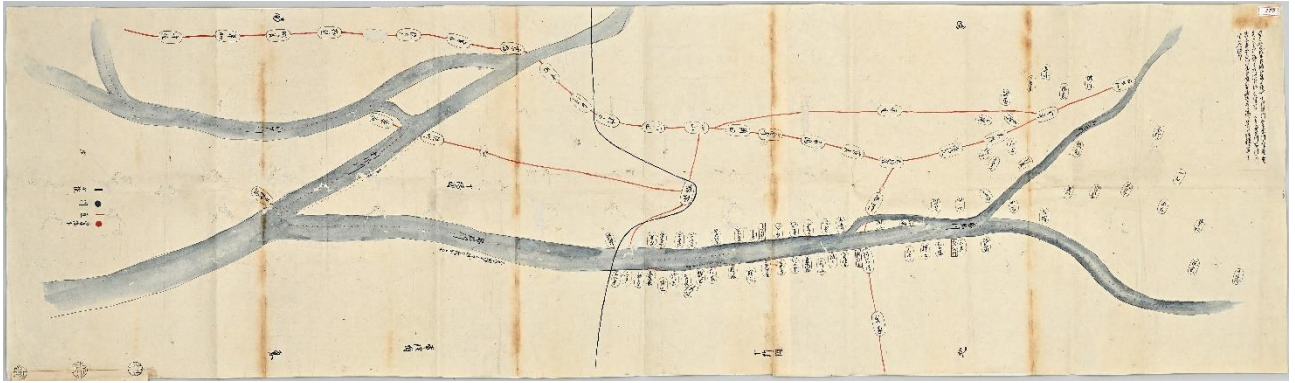
裏面をご覧ください。

## 【本件に関する問合せ先】

日光市教育委員会事務局文化財課歴史民俗資料館・二宮尊徳記念館 担当:福田

電話:0288-25-7333 MAIL:bunkazai@city.nikko.lg.jp

◆主な展示資料

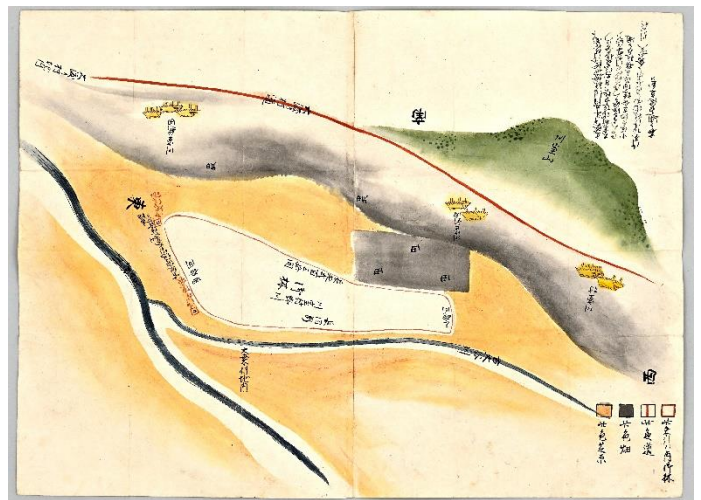


▲〔鬼怒川筋河岸場書入絵図〕 安政3年（1856） 当館所蔵



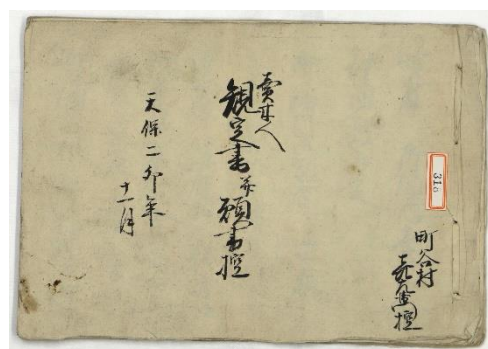
▲〔後川下ヶ売木仲間鑑札〕 江戸時代

後期から幕末 当館所蔵



▲〔日光御領芹沼之内川室村御立林御絵図〕 享保20年（1735）

当館寄託



▲売木人規定書并願書控 天保2年（1831）

当館寄託



▲覚（栗・杉角通御証文之写し） 宝暦6年（1756） 当館寄託



▲〔後川下ヶ売木仲間鑑札〕 江戸時代後期から

幕末 当館寄託



◀農家用心集 慶応2年（1866）

当館所蔵